

子どもの救急

「こんなときどうする」5

「下痢」



子どもの発熱、けいれん、せき、嘔吐、下痢などの場合の対処法やお医者さんへのかかり方、救急車の利用などについて、公立豊岡病院総合診療科の山田博之先生に、5回にわたって連載していただいています。
今回は最後のテーマの「下痢」について、掲載します。

下痢や便の異常は、前回の嘔吐と同様、かなり多い症状の一つで、ほとんどはウイルス感染症によるものです。
その中で、危険な状態、注目すべき症状を学び、また対処法も学んでおきましょう。



《救急受診すべき》

これも前回までと同様、意識・呼吸・循環の異常は、緊急受診が必要です。呼び掛けでも反応が鈍い、呼吸が弱い、顔面そう白、皮膚が冷たいなどといった症状を伴ったときには、すぐに救急外来へお越しください。



- また、次のような症状や便を見たときにも、すぐに救急外来を受診されることをお勧めします。
- 下痢や嘔吐が続き、意識がぼんやりしている
- けいれんを合併する
- 激しい腹痛を訴える
- 赤色の便(血便)が大量に出る

- 周期的に腹痛を訴え、赤く粘っこい便(イチゴゼリー状)が出る
- 嘔吐も合併し、尿がいつもより少なく、水分もほとんど取れない
- 意識、呼吸、循環の症状以外にも、血便には要注意です。「周期的な腹痛+赤い粘っこ

い便」は、腸重積(注1)を考える必要があります。
乳児の場合は、腹痛を訴える代わりに、周期的に泣いたり、不機嫌だったりといった症状が表れます。

※(注1)腸重積：腸が腸の中に潜り込み、腸が二重の状態になることで、腸閉塞の状態になる病気。緊急治療が必要になることがあります。

《下痢の対処法》
下痢が続くと一番心配なのは脱水です。これは嘔吐のときと同じで、嘔吐と下痢を合併している時には、さらに注意が必要です。

少しずつでも水分が取れており、周囲に興味を持ち、機嫌が良く、おしっこもいつも通り出ている時は、翌日まで待つ从小児科を受診しても良いでしょう。
これもまた、前回の嘔吐と同様、おしっこの量や色、口の中の湿り具合、皮膚のかさ

かさ度などは、脱水の指標になりますので、チェックしておきましょう。対処法も嘔吐の時とほぼ同様です。

○脱水予防
「少量ずつ、何回も」が原則！

経口補水液があれば、少しずつ飲ませましょう。それ以外では、お茶、水、スポーツドリンクなどの清涼飲料水でも構いません。



乳児の場合は、母乳をそのままあげても良いです。本人の苦痛がなければ食事を始めても構いません。
「下痢は止めたほうが良いのでしょうか？」とよく聞かれますが、下痢の多くは、腸の中にウイルスや細菌が入って起こります。

下痢は、ウイルスや細菌を排出させる働きの一つです。で、下痢止めを使わずに整腸剤などでそのまま様子を見ることが一般的です。大半の下痢は数日で治まりますので、脱水予防を心掛け、日中、小児科を受診してください。

〔最後に〕

5回シリーズで連載してきました小児救急の話も今回で最後となりました。

子育てに不安はつきものです。特に病気に関しては、緊急事態であり、戸惑うものです。そのためにも、あらかじめ基本的な症状に対する対処法を学び、「初めからすべて病院へ」ではなく、「できることはまず自分で、そして分からないこと、できないことに関する病院をうまく利用する」という考えで子育てしてもらえればと思います。一緒に子育てしやすいまちを作っていきましょう。



※分からないこと、聞きたいことがあればメールしてください。
メールアドレス
shouni99@yahoo.co.jp
《問合せ》公立豊岡病院総合診療科 ☎22-6111
ホームページアドレス
http://www.toyookahp-kumiai.or.jp/

高齢者インフルエンザ 予防接種を実施します

インフルエンザは、ワクチンを接種することによって、かかりにくくなったり、かかっても重症になることを防止する効果があるとされています。

市では、高齢者を対象にインフルエンザ予防接種を次のとおり実施します。

◆対象者①65歳以上の市民で、接種を希望する方

②60歳以上65歳未満の市民で、心臓・腎臓または呼吸器の機能の障害を有し、日常生活が極度に制限される方、またはヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方



◆接種期間

10月6日(月)～12月27日(土)

◆接種回数

1回

◆自己負担

1,300円(市民税非課税世帯、生活保護世帯は無料)

◆申込み

下記の市内高齢者インフルエンザ予防接種協力医療機関に直接申し込みください。

◆接種に必要なもの

予診票、健康保険証、生活保護世帯等の証明書、市民税非課税世帯の方は同意書(印鑑が必要です)

※接種に必要な予診票・同意書は、市内の協力医療機関、保健センター、各総合支所健康福祉課に置いています。

◆その他

次の方は、市外の医療機関で接種することができます。

- ・県の広域予防接種医療機関での接種を希望する方
- ・長期入院中または施設等に入所中の方

接種を希望する方は、11月7日(金)までに事前に保健センターまたは各総合支所健康福祉課に申し込みください。

〈市内高齢者インフルエンザ予防接種協力医療機関〉(病院・診療所別・地域別医療機関名50音順)

地域	医療機関名	電話番号	住所	地域	医療機関名	電話番号	住所
病院							
豊岡	公立豊岡病院	22-6111	戸牧1094	豊岡	由利医院	22-2382	大磯町9-53
日高	日高医療センター	42-1611	日高町岩中81		吉田クリニック	26-8188	土淵133-1
出石	出石医療センター	52-2555	出石町福住1300		ろっぽう診療所	24-7007	今森465-1
※公立豊岡病院は継続治療中の方のみ予約してください。				城崎	浅見医院	32-2610	城崎町湯島349-1
診療所					藤本医院	32-3181	城崎町来日128-7
豊岡	あかまつ小児科	22-0700	九日市下町119	竹野	内山医院	47-0010	竹野町竹野344
	いがらし医院	29-2766	城南町5-11		賀嶋医院	47-0005	竹野町竹野2510
	浮田整形外科医院	29-0017	若松町7-5		森本診療所	48-0001	竹野町森本513-1
	江本内科クリニック	29-0333	江本503		赤松医院	42-0230	日高町江原404
	大井医院	24-1001	城南町8-12		尾松内科クリニック	42-0885	日高町上石230-2
	小幡内科医院	24-2511	中陰376-22		神鍋診療所	45-0003	日高町栗栖野60-34
	金子医院	22-2676	泉町4-11	日高	北見医院	42-5300	日高町松岡347-1
	木下診療所	22-3733	中陰45		北村内科	42-3110	日高町日置29
	きょうこ内科クリニック	24-7772	寿町2-36		谷垣医院	44-0010	日高町伊府660
	クリニック富江	23-3100	若松町5-38		つるさこ耳鼻咽喉科	42-5800	日高町土居170-1
	さくらクリニック	23-8668	弥栄町1-32		野田消化器科クリニック	42-1022	日高町岩中212-1
	しらゆり診療所	24-7201	小田井町17-7		長谷川クリニック	42-3955	日高町国分寺400-13
	田中クリニック	29-3100	正法寺631		玉岡医院	52-2070	出石町町分183
	中治内科クリニック	24-1890	京町5-43	出石	中沢医院	52-5803	出石町本町66
	中島医院	24-9500	高屋1054		平位医院	52-0511	出石町福住383-7
	中田医院	28-2016	瀬戸77-20		藤原医院	52-2301	出石町松枝105
	舟木外科胃腸医院	23-2031	泉町7-30		由良内科クリニック	52-2006	出石町八木36
	舟木内科医院	22-3538	京町3-21		和田内科クリニック	53-2788	出石町町分131-1
	モリヤマ診療所	23-5100	桜町11-7	但東	合橋診療所	54-0011	但東町出合76
	やすだ内科クリニック	22-1159	戸牧37-5		資母診療所	56-0303	但東町中山788
					高橋診療所	55-0036	但東町久畑126

《問合せ》健康増進課(保健センター) ☎24-1127